



今帰仁村

# 議会だより



2023年県社会教育功労者賞・2024年スポレク活動賞・2024年県文化協会から団体賞



民踊サークル「うりずんの会」仲里靖子先生代表(92歳)の皆様が練習している仲宗根公民館を訪ねました。靖子先生は若い頃から美しい方で今も変わらずリーダーとして30名の会員を大切に育てています。ご本人は「会員に支えられて今があるし、居場所作りにもなっている」と話されました。1992年にサークルを立ち上げ24年が経過、その間「村文化協会、福祉施設、村まつり、民踊りフェスティバルの参加、交通安全協会に協力し練習を重ねてきた」と会員の三輪昌子さんは説明してくださいました。月3回の練習は踊りだけでなく、休憩時間のユンタクで笑い合い、情報交換しています。助け合い模合の楽しみもあり、60代から90代の幅広い年代で「踊りの和は人の和」として靖子先生の素晴らしい指導力のもと健康寿命100歳を目標に会員が楽しく参加していました。(根路銘弘美)



R8  
No. 181  
3.1 発行

一般質問と答弁	2p
議決結果・賛否一覧表	12p
議会報告会・住民意見交換会	13p
研修・叙勲	14p
2月定例監査・編集後記	14p

# 一般質問

## 12月定例会 会期日程（12月10日～18日）

9名が一般質問しました 12月16日(火)・17日(水) (通告順)

3p	根路銘弘美	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童生徒家庭休暇制度(ラーケーション)について</li> <li>② 今帰仁村の公共施設全面禁煙について</li> <li>③ 今帰仁村一般家庭ごみ・事業系一般廃棄物について</li> </ul>
4p	座間味 靖	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 字の自治活動支援について</li> <li>② 平和教育について</li> <li>③ 村営プールの利用時間について</li> <li>④ カーブミラーの修理について</li> </ul>
5p	島袋 輝也	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 村民が住みやすい持続可能な村づくり</li> <li>② 観光振興に向けた課題について</li> <li>③ 公有財産の活用について</li> <li>④ 地域課題について</li> </ul>
6p	山城 太	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ジャングリア沖縄との連携について</li> <li>② 千代金丸(太刀)について</li> </ul>
7p	島袋 誠	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 防災行政について</li> <li>② 村指定文化財について</li> <li>③ スポーツ振興について</li> <li>④ 観光振興について</li> <li>⑤ 笑顔があふれる村づくりにむけて</li> </ul>
8p	東恩納寛政	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 村道ムラウチ線沿いに掛かる危険木の伐採について</li> <li>② 国道505号、鎌城幹線1号農道間里道のアスファルト舗装について</li> </ul>
9p	石嶺美奈実	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 給食について</li> <li>② 子ども達の遠征費について</li> <li>③ 図書館について</li> </ul>
10p	與那 勝治	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域経済循環について</li> </ul>
11p	上原 祐希	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 産業振興について</li> <li>② 空き家対策について</li> <li>③ 古宇利島水道事業について</li> <li>④ 今泊港川整備事業等について</li> </ul>

●の数字は掲載された質問です。●の数字の質問は紙面の都合上割愛されています。本会議録については各字公民館に配布の予定です。詳しく調べたい方は、公民館もしくは議会事務局までお立ち寄りください。



根路 銘 弘美 議員

**問1** 児童生徒家庭休暇制度(ラーケーション)

保護者の休暇に合わせた平日に学校を休める制度を、今後、村立小中学校で導入の予定はあるか伺う。

**答** 上間久仁教育長

ラーケーションについては教育委員会議でも話題になり、前向きに話していくことで、教育委員会としても調査して取り組んでいく。学校とも情報共有しながら、進めていきたい。

**問2** 今帰仁村公共施設全面禁煙

公共施設は全面禁煙と認識しているが、看板など設置予定があるか伺う。

**答** 社会教育課長

基本、国の健康増進法、または受動喫煙防止法の中で

は、禁止されていることは承知しているが、あまり厳しくするのも環境上、愛煙家の方には厳しいものがあるかと考えている。今後、喫煙場所等もしつかり確保したいと考えている。指定管理者と調整の上考えていきたい。

**問3** 今帰仁村一般家庭ゴミ・事業系一般廃棄物

事業系一般廃棄物処理の周知を回収業者と情報交換をして役場の方でも検討できるか伺う。

**答** 住民課長

一般廃棄物処理計画に基づいて分別して収集するものとした一般廃棄物の分別排出を村民及び事業者に普及させるため広報、啓発、指導、その他必要な処置を講ずるものとする、条例の中にその条項があるので力を入れていかなければいけない部分なので取り組んでいく。

**問** 二台のパッカー車にドライブレコーダーの設置、2台車のバックモニターの設置を検討頂けるか伺う。

**答** 住民課長

ドライブレコーダー等の設置があれば何か起きた時に映像で残るので良いと思う。受託している業者の意見も聞き取ったうえで検討していきたいと思う。

**問** 今帰仁村が取り組めることから、ゼロからではないと思うので、今こみとしている物を収入に変えていく

方法を村長としての考えを伺う。

**答** 久田浩也村長

持続可能な循環型社会を目指しているところに相違はないと考えている。これまでにゴミの減量化あるいは資源化に積極的に取り組んでいるが、今後、さらに両町村民、また事業者、行政が一体となって推進していく。よくいう3Rですが、リデュース、リユースそして

リサイクルいわゆるリデュースとは発生を減らせ、またリユースは繰り返す、当然リサイクルは資源づくりとなると思うがその取り組みは一層不可欠であると認識している。ドラレコの設置については庁内、あるいは一部事務組合、関係機関ともしつかりと協議をして課題の抽出なども含めて前向きに今後取り組んでいく考えをもっている。



▲パッカー車と資源ごみ回収車



### 問1 字の自治活動支援

字ごとに、豊年祭や盆踊りなど、住民主体によるさまざまな自治活動が行われている。

しかしながら、人口減少や少子高齢化の影響により、字によっては、これらの活動を継続していくことが困難な状況にある。字を元気にすることは、村が推進する持続可能なDX事業の推進にもつながるものであり、字における自治活動の重要性は、今後さらに高まるものと考ええる。そこで、字の自治活動に対する支援について、村としてどのように捉えているのか、見解を伺う。

#### 答 村長

字の自治活動は、地域社会を支える最も基本的な自治力の一つであると認識している。令和6年第2回定例会の際に



座間味 靖 議員

もお答えしたが、各区における字費について、直接的な補助についての考えはない。自治活動に対する支援については、区長との連携を図っていく。

問 字からシャワーの設置ができないか。万が一避難をし、長引いた場合にシャワーもあるとありがたいという声があった。シャワーの設置に対して何か補助事業がないか伺う。

#### 答 社会教育課長

現時点では予算を計上していないため、検討課題になると考えている。

問 富山県南砺市を視察した。自治会、公民館、地区社協、その他団体を一つにまとめ、小規模多機能自治の手法による地域づくり協議会として素晴らしい取組をしていると感銘を受けた。ぜひ村職員も先進的な取組のところへ研修に行かせてもらえたらと思う。

#### 答 総務課長

先進地を視るということは非常に大切なところと思

うので、研修の考え方を広げていけたらと感じている。

### 問2 平和教育

戦後八十年が経過し、戦争体験者が年々少なくなる中、いわゆる台湾有事論を背景として、自衛隊の南西シフトが強化されるなど、「戦争前夜」とも指摘される状況にある。このような情勢を踏まえると、教育行政と学校が連携し、平和教育を一層推進していくことが重要であると考えている。そこで、村が実施している平和祈願祭と学校における平和教育を関連づけ、効果的な学びにつなげていくことについて、見解を伺う。

#### 答 教育長

学校教育における平和教育については、学校の教育計画で示されている。平和祈願祭と学校における平和教育を関連づけ、効果的な学びにつなげていくことについては、平和祈願祭への児童生徒の参加は各学校に一任した

いと考えている。

### 問3 村営プールの利用時間

村営プールの利用時間が一日を通して4回に分けて設定されており、利用しづらいとの声がある。そこで、先月における一日平均の利用者数と、利用時間を4回に区切って設定している理由について伺う。

#### 答 教育長

令和7年11月における一日平均の利用者数は約23名となっている。利用時間を4回に区切って設定している理由は、指定管理者との調整により設定したと認識している。

問 村民がプールを利用しやすいように、時間設定を変えてもいいのではないかと思うが、再度伺う。

#### 答 社会教育課長

糸満市では10分の休憩を挟んで、そのまま入場でき、特にチケットを買う必要はない。その辺りを十分調査

した上で、利用者が利用しやすい体制を構築するのにも務めだと考え、指定管理者と調整し対応していきたい。

### 問4 カースミラーの修理

ウツパマビーチへ降りる箇所に設置されているカースミラーが、長年にわたり破損したままの状態となっている。当該箇所は見通しが悪く、これまでも安全面に不安があるとの声が寄せられている。また、来年6月からは周辺でホテル建設工事が開始される予定であり、工事車両等の往来が増加することが予想される。交通安全確保の観点からも、早急なカースミラーの修理が必要であると考えているが、見解を伺う。

#### 答 村長

当該現場を確認したところ、修理は不可能であるため、専門家の意見を踏まえ、カースミラーの必要性及びその他の交通安全対策も含め検討していく。



**問1** 観光振興に向けた課題

第三次今帰仁村観光リゾート振興計画の中間見直しにより、自然資源の活用、地域産業との連携、雇用創出などの課題が明らかになった。観光振興を通じて地域経済を支えるための基本方針と対応について伺う。

①海・自然・集落景観等の地域資源を生かした観光地づくりの課題認識と方針。  
②経済効果を高める体制づくりと地域産業との連携モデルの検討状況。  
③自然海岸として残る貴重な浜の保全に向けた現状の課題と今後の方向性。  
④田園空間整備事業等で設置された説明板・案内板の現状把握、老朽化・破損への対応、更新・修繕及び内容見直しの計画。

島袋 輝也 議員

**答** 村長

①観光客の増加に伴い住民生活への影響が生じていると認識している。海・自然・集落景観は、保全を前提に活用していく方針である。②関係機関と連携し施策を実施しており、今後も計画に基づき取組を推進する。③観光客の増加に伴う課題を踏まえ、計画に基づき浜の保全に取り組む。④住民からの情報を基に職員が巡回し現状確認を行っている。簡易案内板の設置や補助事業の活用を検討してきたが、抜本的改善には至っていない。景観面の課題も踏まえ、再整備に向けた調査研究を継続する。



▲国指定諸志植物群落の説明板

**問** 海岸周辺の防風林について、旧梯梧荘跡地周辺の防風林内に希少植物(ワニグチモダマ等)の自生が確認されているとの指摘がある。開発に伴う防風林の伐採・除草の考え方、県との協議状況、村としての監視・管理体制について伺う。

防風林内に希少植物が生きていることは、過去に琉球大学の調査や報道等により確認されており、開発予定の事業者も認識している。防風林の全面的な伐採は想定しておらず、低木の除草等については県と協議の上、必要最小限の範囲で対応する方向で検討している。老朽化した高木(モクマオウ等)の更新についても協議中であり、現時点では着手段階ではない。村としても、関係機関と連携し、適切な監視・管理に努める。

**答** 企画財政課長

旧学校跡地、旧ポンプ場跡地などの村有地・公有財産は遊休化するおそれがある。適切な利活用により、地域振興や住民サービスの充実につながる必要がある。①旧湧川小中学校跡地の管理状況と、過去の検討経過や問合せの有無。②跡地活用に関する村の基本方針。

**問2** 公有財産の活用



▲ワニグチモダマ

旧学校跡地、旧ポンプ場跡地などの村有地・公有財産は遊休化するおそれがある。適切な利活用により、地域振興や住民サービスの充実につながる必要がある。①旧湧川小中学校跡地の管理状況と、過去の検討経過や問合せの有無。②跡地活用に関する村の基本方針。

**答** 村長

①令和6年度に旧校長住宅の解体、校庭内の除草・伐採を実施した。民間事業者による利用検討があり、法人・個人から複数の問合せがある。②未買収の民有地のうち1筆を取得し、残る1筆は協議中である。取得状況を踏まえ、公募による売却も含め検討する。

**問3** 地域課題

村道の路肩・路面における雑草・樹木の繁茂により安全性低下が指摘されている。通行安全と住環境維持のため、維持管理体制と改善策を伺う。①主要路線(与那嶺諸志線ほか)における繁茂状況と安全面の把握。②除草・路肩管理の責任部署、実施頻度、管理手順。③住民通報後の対応フロー。④今後の方針、予算、体制見直しの予定。

**答** 村長

①～③建設課管理係が担当し、主要路線は年2回程度の除草を実施している。道路パトロールや通報を踏まえ箇所を選定し、委託業者と調整の上対応する。緊急性の高い箇所は優先対応としている。④計画に基づき年間を通して確認・除草を継続する。路肩管理は道路管理者が実施し、予算は一括交付金を活用している。体制の見直しは、近隣市町村や県と情報共有し検討する。

### 1 ジャングリア沖縄との連携

多岐にわたって連携が取られていると思う。そこで、パーク内において、北部地域の文化や経済活性化を図るため、物産展的なイベントの開催を、同パークと北都市町村会にて協議してみてもどうか。

#### 答 村長

必要に応じて北都市町村会などへの提案を行っていく。

問 必要に応じてとは、具体的な内容を伺う。

#### 答 比嘉克雄副村長

本来、北都市町村会という組織は、この事業を実施する場所ではなく、国に対して、地方自治に関する運営の様々な意見を地域から積み上げていく末端の組織である。そこで提案をし、そこからこの事務組合、北部振興会が事業内容を見て、広



山城 太 議員

域的な2つの団体が実施するのが適当である。

問 各市町村、本村から商工会や農家、観光関係者、観光協会を含め、意見を酌み取って、村からスタートするといった段階、段階で実施できないか伺う。

#### 答 副村長

ジャングリアの施設内で、HACCPなどの食品製造基準をクリアしたものでないと出せない。出せる要件が結構多岐に渡る。商工会の関係者に聞くと、北部の事業所では対応できないだろうという意見を聞いている。

問 市町村会へ提案という方向で、ぜひ、やんばるを盛り上げるために努めていただきたい。

#### 答 副村長

ジャングリアの開業はもともと、北部振興の起爆剤として強く期待されている。市町村会との円滑な連携、協力を図っていく必要があると思う。そういう観点からも、市町村会、振興会とも協議をしていきたいと思う。

### 2 千代金丸(太刀)

現在、那覇市が所有する千代金丸(太刀)は、元来、当時の北山王が所持していたものと思う。そこで、元さや(本村)へ収まるほうがよいのではな

#### 答 教育長

本村の基本的な姿勢としては、千代金丸の返還を原則とするのではなく、那覇市へ寄贈された経緯や保護方針を尊重しつつ、地域の教育・文化振興との整合性を図るべきだと考えている。また、長期に渡り適切な環境で管理できる施設・人材・財源の確保及び展示・保全・研究活動が安定的に継続できる施設の整備が不可欠であるため、現時点では「返還を求めず、那覇市での管理を継続する」方向で進め

問 一度でも本村へ、元さやへ、という話がなされたことはないか伺う。

#### 答 社会教育課長

尚氏から那覇市に、琉球国王尚家関係資料として寄贈

されたと理解している。伝承によれば北山王が所持していたとされている。これまで文献等ではなく、語り継がれてきた伝説の中で伝承されてきた事項なので、村へ移管を提案することは難しい状況である。

問 何年前かに、結構お金をかけてレプリカを作ったと思うが、その整合性はどうか。

#### 答 社会教育課長

一括交付金事業、金装宝剣拵事業で、千代金丸、国宝の模造作製を行い、事業費約1,000万円です業費を実施した。概要としては、琉球王家尚家伝来品の一つとして重要文化財に指定されている千代金丸は、伝承上、本村に所在したとされることから、村では、模造刀を作って展示をし、観光客等にご覧いただきたい。

問 那覇市へ寄贈された経緯や保護方針を尊重しつつ、地域の教育・文化振興との整合性も加味し、伝承されているストーリー、本物を村に一度お借りし、伝承を後世に伝えていくのも、地域の教育・文化振興等が図ら

#### 答 社会教育課長

気持ちは、重々理解する。国宝である千代金丸、金装宝剣拵を本村で展示することは非常に意義あることだと理解する。しかし、国宝であるため、展示、保存、適切な管理が必要であり、本村にはそのような施設はない。そのため村での展示は厳しいと考える。

問 管理ができる設備を整備し、伝承がある北山、今帰仁城跡に展示会を開けば、本当の地域の教育・文化振興、地域の子どもの夢も膨らむと思う。その辺も加味して、答弁を求めます。

#### 答 社会教育課長

施設全体の管理も含めて考えると、千代金丸は国宝であるため、盗難等の可能性がないとは言えない。警備、管理する体制、それに伴う人材、財政を含め、かなりの費用が必要と考える。展示、保存には、新たな施設整備が必要であり、将来的に整備できるよう様々な事業を検討していくが、現状では厳しいと考える。



島袋 誠 議員

### 問1 防災行政

①近年は「自助・共助・公助」のフレーズを耳にするが災害から村民の生命と財産を守るために村としての取組を伺う。②現時点で防災備蓄倉庫は何か所に設置されているか。今後増やしていく計画はないか伺う。③防災リーダーの育成についてどのような考えがあるか伺う。

#### 答 村長

①自主防災組織等活性化推進事業を活用し、講演会や防災訓練などを行い、自主防災組織結成の促進に努めている。②現在、兼次・今帰仁・天底小学校・古宇利区の4か所に設置をしている。今後の計画は、国などの補助事業を活用しながら、倉庫増設を検討していく。③職員をはじめ、村内自主防災組織の会員を

対象に、地域の防災リーダーとなる防災士育成のサポートを行っている。

### 問2 村指定文化財

種別としてはどのようなものが指定されるか。また指定されるまでの経緯を伺う。

#### 答 教育長

村文化財保護条例に定める種別は、文化財保護法及び沖縄県文化財保護条例で指定を受けた文化財以外のもので、①建造物、絵画等の「有形文化財」、②演劇、音楽等の「無形文化財」、③衣食住、生業等の「民俗文化財」、④遺跡、動物、植物、地質等で学術上価値の高いもの「記念物」に分類される。指定されるまでの経緯は、文化財暫定リストとして登録し、重要度の高いものや条件が整備されたものから文化財保護調査委員会に推薦し、同委員会が審議を経て指定される。

### 問3 スポーツ振興

①スポーツコンベンションを推進していく考えはないか伺う。②これまで本村が高校駅伝のコースとなっているのもスポーツ振興に寄与していると考察できるが、今年、新コースになった経緯を伺う。

#### 答 教育長

①村第五次総合計画では、県スポーツ協会との連携により、スポーツ合宿の誘致等を進め、スポーツ観戦・参加、地域体験を目的とした「スポーツリズム」の振興を図ることとしている。「スポーツコンベンション」については、情報交換、ビジネス交流を目的としており、両者ともスポーツに関連する戦略として位置づけられることから、今後、これらの事業について調査研究を進めていく。②県高体連主催による調整会議において、本部町新里方面の渋滞が顕著であるとの意見が出され、高体連陸上専門部で協議した結果、村内のみでコースを設定

し、同大会を開催することが決定されたと承知している。

### 問4 観光振興

①観光大使やふるさと大使、北山王・王妃の必要性や役割を伺う。②観光協会の主な事業として、修学旅行生徒の教育民泊の受入事業があるが、職員がなかなか固定できない状況に不安を感じているとの相談があった。安定的な運営ができるよう行政の手助けの必要性も実感しているが、見解を伺う。

#### 答 村長

①いずれも村のPR活動などを担う役割と認識している。現在、観光大使は2名委嘱し、活動を行っていた。ふるさと大使は、これまで取組を行ったことはない。北山王・王妃は、過去に今帰仁グスク桜まつりの開催に合わせて毎年選考し、活動を行っていた経緯がある。必要性については、いま一度効果検証していきたいと考えている。②村と観光協会は、日頃より情

### 問5 笑顔があふれる村づくり

山形県では、笑いによる心身の健康づくりを推進することを目的として「山形県笑いで健康づくり推進条例」を制定している。平成31年4月に施行された「今帰仁村健康長寿むらづくり条例」のように、「笑い・笑顔」を強調した施策を、まずは教育分野から取り組んでいただけないか伺う。

#### 答 教育長

「笑い・笑顔」については、ストレスの軽減、心身の健康増進、人間関係の改善など多岐にわたり効果があると科学的にも証明されている。「笑い・笑顔」を強調した施策については、教育現場で子どもたちが安心して過ごせる環境づくりのために、工夫を凝らし取り組んでいる。



東恩納 寛政 議員

**問1** 村道ムラウチ線沿いにかかる危険木の伐採

村道湧川ムラウチ線に覆い被さっている大木（ホルトノキ・アカギ等）の根元は、半分以上露出し、村道に倒れそうな状態にある。この道路を通行する車両等に多大な危険がおよぶ事が考えられる。一昨年の台風時に大木の倒木があり、一時通行止めになっていた。大木の所有者は外国に居住し、伐採などの対応は厳しいと思われる。また、倒木した場合、送電線の破損等も考えられる。以上の観点から大木の伐採は緊急を要する。村の対策を伺う。

**答** 村長

当該箇所は、村道湧川ムラウチ線沿いの道路用地外の雑木であると認識している。台風や荒天時等、電線

に直接影響があると考えられる部分は、管理者である沖縄電力へ依頼し現在対応中である。本体伐採は、個人所有物のため原則、個人の責任において対応することとなっている。

**問** 村道湧川ムラウチ線の真ん中あたりに16本の大木があり、これが一番危ない。完全に内側は空洞になっている。5、6本の根があるが下のほうは村道のアスファルトの間に挟まっている状態。そこに雨が降ったり、台風が来たりすると倒れる確率が高い。これは木と道の状況を見ても道路のほとんどを覆っている。2年前に一番左端の木が1本倒れ、湧川区の自主防災会が交通制限をしながら片づけている。倒れているものはチェーンソーで間に合うが、高所は村がスカイマスター（高所作業車）を借りられないか、答弁を求める。

有物のため原則、個人の責任において対応することとなっている。今回、区から話を受けて現場を確認すると、倒木によって沖縄電力の電柱の架線にかかる可能性があると。それに関して、電線に影響がない程度お願いし、沖縄電力が切除している。例えば枝の切除程度は可能と考えるが、本体の伐採は基本原則は、個人になる。例えば、所有者が地域にいない場合、本人と連絡をとって対応する場合や、親族、関係者をあたって調整をしていく方法があるかと思っている。

**答** 建設課長

危険木の伐採は、個人所

湧川区自主防災会は、自発的に行動している。せめて伐採した雑木は、役場のほうで捨てる場所の提供ができないか。

**答** 建設課長

切除した後の処理は、村もヤードや一時仮置場所を確保できていないため難しい。



▲危険木



▲村道湧川ムラウチ線

**問2** 国道505号、鎌城幹線、城幹線1号農道間里道のアスファルト舗装

国道505号、鎌城幹線1号農道間里道が、約25メートル未舗装のため、大雨や台風時に悪路となり、車両の通行に支障がでている。また、当該里道は、集合墓地及び鎌城土地改良区に通ずる重要な里道である。早急な道路舗装を要するが対応を伺う。

**答** 村長

当該箇所は、現況の道路と地籍上の里道に齟齬が生じており、現状での舗装は困難である。



**問1**  
**給食**

どこに対応すべく建替えを含めた整備方針を検討していく。

**問** 給食センターは本年度予算で、環境改善を図っているが、依然として厳しい労働環境が続いている。設備の修繕が繰り返され、今年の夏休み前に機器から煙が出たこともあったと聞いた。

**答** 学校教育課長

今後、発火などのトラブルも視野に入れ、質問をしている。さらに、トイレや更衣室なども衛生面、利便性の面で改善が必要。これらの状況と、機器全体の老朽化を踏まえ、村として給食センターの抜本的な改善または新施設整備を視野に入れた計画の有無、今後の検討方針を伺う。

整備方針について、現在は整備方針を検討。老朽化などに対応すべく、建替えを含めたものになる。給食センター運営委員会を、9月に開催。現状として施設建物自体は使える可能性も含んでおり、さらに調査を進め、補助事業を活用することも含め検討する必要がある。更新を断定しないことで現在、検討している。

番古い機器の複数が平成8年のものであり、夏休み前に煙が出たという機器もあった。③アレルギー対応除去食を準備する環境が隔離されていない。これらの点、高度な危険性に当てはまるかどうか、答弁を求める。

**答** 学校教育課長

①労働環境の問題だが現在、良好な状態ではない。スポットクーラー等も設置しながら環境改善を図っている。②機器の故障等については今までも、取替え、修繕を繰り返している。給食の提供に関して、安全性を保つことを念頭に対処している。これまで大きな身体に影響のある事案は起こっていないものの、環境を整える必要があると思うが、早急に対応するものには該当しないというところで理解している。③現施設において、工夫しながら食材、給食を提供できるよう対応を図っている。



▲学校給食

算の検討を行っていただけるか。大きな器材ではなく、除去食を扱うときのための調理器具である。

**答** 学校教育課長

職員と情報を確認しながら対応できるものについて対応し改善していきたい。

**問2**  
**図書館**

総合計画では、村立図書館の内容充実に取り組みながら中央公民館及び周辺整備と一体に、再整備の検討を行うとある。現時点でどのような方向性や考え方を想定しているか伺う。

**答** 企画財政課長

中央公民館という具体的な名称が出てきたが、そこではない。次の計画であるが、産業連携施設の整備が今後計画されている。それに伴い、既存の施設である今帰仁の駅そくれの空間、利活用の一つとして、まず検討を視野に入れている。

**答** 教育長

今後の検討方針については、設備及び機器全体の老朽化な



石嶺 美奈実 議員

**問** 村公共施設等総合管理計画の30頁に、安全確保の実施方針が記載されている。今から述べる3つの内容について、高度な危険性に当てはまらないか、見解を伺う。①空調整備が整っていないことによる職員の身体や精神面の安全性。②一

**問** 調理器具（アレルギー対応）だけでも、すぐに予

**答** 企画財政課長

図書コーナーや、そ



▲村立図書館



與那 勝治 議員

### 問1 地域経済循環

お祝いごとなどの返礼品として、近隣市町村の大型スーパーの商品券が利用される例が多く見られるが、この消費行動が本村の地域経済循環にどう影響を及ぼしているか、改めて確認したい。地域内での消費促進や地元事業者への波及効果を高めるためには、村として一定の方向性を示し、循環を生み出す仕組みを構築していくことが重要だと考える。他市町村では、プレミアム付き商品券や地域通貨、ポイント制度などによって地元利用を促す取組が進んでいる事例もあるが、本村は、地域経済循環の現状分析と課題をどのように認識しているか。また、持続的に地域内消費を促すための考え方について、当局の見解を伺う。

#### 答 村長

現状、統計等具体的な分析は行われていない状況にあるが、昨今の社会経済情勢において、高齢化や後継者不足、消費者の行動範囲の拡大など厳しい経営環境におかれていると認識している。持続的に地域内消費を促すため、関係機関などと連携を図り、調査研究していく。

#### 問 経営環境は、厳しさを増している。観光は伸びているが、地域事業者の厳しさは増し、アンバランスなところがあるので、そういった観点も踏まえて質問する。現在、村内での経済循環がどのような状況かリソースなどのデータを最新の循環率等を把握できるか伺う。

経営環境は、厳しさを増している。観光は伸びているが、地域事業者の厳しさは増し、アンバランスなところがあるので、そういった観点も踏まえて質問する。現在、村内での経済循環がどのような状況かリソースなどのデータを最新の循環率等を把握できるか伺う。

#### 答 経済課長

確認した範囲では、最新データが平成30年で、古いデータであると認識している。

#### 問 平成30年のデータでは、地域経済の循環率が50.5%である。今は改善されていると思うが、50.5%だと、村をバケツ、お金を水に例える

と、バケツに水が入ってくるが、50%は逃げていく状況である。地域外からの流入も見られるが、それ以上に地域外へ出ていくお金が多い状況である。参考だが、平成30年のリソースデータによると、支出として、地域外へ流出している額は125億円である。村外の大型スーパーの商品券を返礼品として使う、食事、買物、意識をしなければ村外でお金を使うことが多いと思う。これが積み積もって125億円が流出している状況と推測する。何もなければ流出の流れは加速するばかりと思うが、この辺を踏まえて改めて見解を伺う。

#### 答 経済課長

これまでの取組として、例年商工会から「村内事業所の利用、村産品の使用などを奨励していただきたい」と、村に要請などがある。その辺を踏まえ、村としても、村内事業者の利用、村産品の使用などを推進、周知する取組を行っていただければと考えている。

#### 問 それ以外でも手を打たないといけない。村外での支出、私を含め村民が、村外に流出、支出を少しでも減らそうと意識する。1%でもこの流出を防ごうと努力した場合、先ほどの数字を参考にすると1%で、1億2500万円の消費が地域内で喚起される。1%だが、大きな額になり、少しずつ経済を回していく。1%でも、大きな効果が生まれるが、果たしてこの1%をどう消費させ、どう村内に向けるかが課題になると思う。これを踏まえ、村内のみで使えるデジタル地域通貨などの導入を検討しては。と考へ、村DX推進ビジョンでは、村もデジタル化が加速している。その一環としてデジタル地域通貨の導入について見解を伺う。

それ以外でも手を打たないといけない。村外での支出、私を含め村民が、村外に流出、支出を少しでも減らそうと意識する。1%でもこの流出を防ごうと努力した場合、先ほどの数字を参考にすると1%で、1億2500万円の消費が地域内で喚起される。1%だが、大きな額になり、少しずつ経済を回していく。1%でも、大きな効果が生まれるが、果たしてこの1%をどう消費させ、どう村内に向けるかが課題になると思う。これを踏まえ、村内のみで使えるデジタル地域通貨などの導入を検討しては。と考へ、村DX推進ビジョンでは、村もデジタル化が加速している。その一環としてデジタル地域通貨の導入について見解を伺う。

#### 答 経済課長

デジタル地域通貨は、地域やコミュニティ内で利用できる地域通貨がデジタル化されたもので、自治体や地域の企業などが独自に発行できるものと確認している。主に、スマートフォンアプリや、

#### 答 経済課長

事業所が展開できるシステムがあるかなども含め、他自治体をさらに調査研究し、確認できればと考えている。

ICカードを使用して決済が行われ、現金を介さずに取引ができ、非常に魅力的であると考えているが、使用手数料や、持続した場合の付加価値を高めるための財源、そういった課題が出てくる。今後、調査研究する必要があると考えている。

#### 問 お祝いなどの返礼品、健康づくりやボランティア活動などのインセンティブとして、カードタイプのデジタル地域通貨を発行したり、ポイント付与としてもデジタル通貨を活用できる。また、プレミアム付き商品券にも使える。使用したデータが構築、蓄積され、分析し、次はどう活用するかなどの戦略を練ることができ。改めてこのデジタル地域通貨の可能性、必要性の見解を伺う。

お祝いなどの返礼品、健康づくりやボランティア活動などのインセンティブとして、カードタイプのデジタル地域通貨を発行したり、ポイント付与としてもデジタル通貨を活用できる。また、プレミアム付き商品券にも使える。使用したデータが構築、蓄積され、分析し、次はどう活用するかなどの戦略を練ることができ。改めてこのデジタル地域通貨の可能性、必要性の見解を伺う。



上原 祐希 議員

### 問1 産業振興

①農林水産業の現状と課題、②二次産業、三次産業の現状と課題。村の目指す方向について伺う。

①物価高騰、担い手不足、離農問題など大変厳しい状況だと認識している。引き続き「持続可能な農業の村づくり」を掲げ、「地域資源・産業が連携し、働き続けられるむら」を目指して関係機関と連携を図りながら推進していく。②高齢化や後継者不足、消費者の行動範囲の拡大など厳しい経営環境と認識している。関係機関と連携し地域資源を活かした産業振興を目指していく。

### 答 村長

宮崎県綾町の有機農法を活用した循環型農業等、先進事例も紹介し、村の農業振興について質疑を行った。平成28年9月議会で質問した中で、生ごみ等も含めて綾町では、循環型農業の一環として、町で堆肥工場を設置し、地域の農産物に使用し、質の高い農産物を提供し、

ブランドینگに成功している事例を訴えてきた。千葉県の民間の農業生産法人は大手スーパーや飲食店へ農産物を出荷し、食品残渣を「農業生産法人」自ら回収、堆肥化し、自社の農産物の質の向上を図り、循環型農業を展開し、農産物の付加価値をつけ高値で販売を行い、経済が好循環している。民間による堆肥の循環型農業の在り方を民間から提案があった場合、行政、JA等関係機関とも連携しながら推進、協力していく必要があると思うが見解を伺う。

### 答 経済課長

民間で計画している事業の内容、各関係機関との連携の状況も踏まえ、確認、検討できればと考えている。

### 問2 空き家対策

これまで地方創生推進交付金などを活用して取り組んできたと思うが、現状と課題について伺う。

### 答 村長

空き家対策推進特別措置法の改正により、空き家所有者の管理責務強化などが全国的な課題と認識している。本村は、過去のアンケートによると利活用及び適正管理が課題となっている。

空き家対策が、移住定住促進事業を進めていたが、結果的に件数の調査と意向調査で終わった。今後、空き家対策に本腰を入れて、中間管理機構を立上げ、仕組みをつくらないと厳しい状況になる。見解を伺う。

### 答 企画財政課長

少し前の新聞紙面で、「商工会議所が空き家管理」と見出しがあった。国の地方分権改革方針での空き家相談業務やマッチングする考え方の法案の提出。自身は、「商工会員の中で、不動産業建設業、リフォーム業者が担うワンストップの空き家対策が期待される効果も狙っている。」と書かれていた。その部分の確認が取れば、窓口として商工会の活用も検討の一つと考える。

### 問3 古宇利島水道事業

①現在、古宇利島には、海底送水管を使用した水道水を供給しているが、更新の時期である。今後の対応、村の見解を伺う。②海底送水管更新は、予算の確保から整備まで相当の時間を要する。ホテル等の宿泊施設の増加に伴い、水道使用量が増え

ている状況に対応するため、貯水タンクの増設が必要と考えるが、村の見解を伺う。

### 答 村長

①、②今後計画する「水道等施設整備費国庫補助事業の変更認可手続き」に係る検討事項として位置づけている。補助事業完了まで一定の期間を要することから、既存施設の機能向上も併せて取り組み、安定した水需要への対応に努めていく。

### 問 最近起こった県企業局の漏水等、全国的なインフラ更新のタイミング等が重なる。早急に更新に向けて取り組んでいただきたい。今後の方向性や意気込み等を伺う。

### 答 水道課長

国庫補助事業の変更認可手続を申請から事業完了までに時間を要するので、その間、他の手立てがないか検討している。

### 問4 今泊港川整備事業等

港川護岸整備事業において、整備した護岸が一部崩壊した箇所がある。今後の対応を伺う。また、整備後の護岸にツル草が繁茂し、周辺農地への影響も考えら

れるが、併せて対応を伺う。

### 答 村長

河川部分の一部で、袋型根固め工法により護岸の保護は行っているが、崩落護岸は確認できない。また、河川内のツル性植物の対応は、現地を確認し検討する。

### 問 川幅が広くなり、綺麗になつていますが、ボックスカルバートは狭くなつている。そこに水が集積し、台風、高波のときに潮が上がつたり、高波被害、大木が流れ着いたり危険箇所である。答弁のとおり、今は崩落ではないが下方石積みが欠けている。崩落の危険箇所になつているので、解消に向けての見解を伺う。

### 答 建設課長

長年計画し、令和12年までの予定で河口から上流に向けて工事を進めている。ボックスカルバートの内部が普通河川で村の管理、上部の国道は県の管理。以前から県との行政懇談会の中で、改修の要請を行っているが、県は大規模な工事がないと認め、対応する予定はないと回答があった。村長からも県に要請している。

### 議決結果・賛否一覧表

「○」：賛成 「×」：反対 「欠」：欠席 「退」：退席 「公」：公務の欠席 「病」：法定伝染病の欠席。  
議長は採決に加わらないため斜線としていますが、可否同数の場合に採決権があります。

議案番号	議案	議長 氏名	議決結果										
			1 座間 味晴	2 根路 銘弘美	3 島袋 輝也	議長 5 上原 祐希	6 石嶺 美奈実	7 上間 聰	8 島袋 誠	9 與那 勝治	10 座間 味薫	11 山城 太	東恩 納寛 政
<b>令和7年第6回臨時会 令和7年11月28日(金)</b>													
議案第57号	今帰仁村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
議案第58号	今帰仁村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
議案第59号	令和7年度今帰仁村一般会計第6回補正予算について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
議案第60号	令和7年度今帰仁村国民健康保険特別会計第3回補正予算について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
<b>令和7年第4回定例会 令和7年12月18日(木)</b>													
議案第61号	今帰仁村附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
議案第62号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
議案第63号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
議案第64号	今帰仁村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
議案第65号	今帰仁村立認定こども園設置条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
議案第66号	指定管理者の指定について (グスク交流センター等)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
議案第67号	令和7年度今帰仁村一般会計第7回補正予算に対する修正動議	否決	○	×	○	/	×	×	×	×	×	×	
議案第68号	令和7年度今帰仁村一般会計第7回補正予算について	可決	×	○	×	/	○	○	○	○	○	○	
議案第69号	令和7年度今帰仁村国民健康保険特別会計第4回補正予算について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
議案第70号	令和7年度今帰仁村水道事業会計第2号補正予算について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
意見書第3号	戦後80年の節目に沖縄の基地負担軽減のための法整備を求める意見書	否決	○	×	○	/	○	×	×	×	退	×	
<b>令和8年第1回臨時会 令和8年1月29日(木)</b>													
議案第1号	工事請負契約について (古宇利大橋伸縮管更新工事)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
議案第2号	工事請負契約について (今帰仁小学校校舎整備外構工事 (2工区))	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
議案第3号	工事請負契約について (今帰仁村保健センター改修工事)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
議案第4号	令和7年度今帰仁村一般会計第9回補正予算について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (令和7年度今帰仁村一般会計第8回補正予算について)	承認	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	

## 3月定例会日程(予定) 会期:令和8年3月5日(木)~19日(木)

・議案審議 3月6日(金)、9日(月)、10日(火) ・一般質問 3月17日(火)、18日(水) ・討論、採決 3月19日(木)  
※予算審査特別委員会 3月11日(水)~13日(金) (委員会はYouTube配信しません)

※議会で行われる本会議の様子をYouTube配信しております。議会傍聴に来ることができない方は、村HP(村議会のページ)をご確認いただき、ご視聴ください。傍聴される方は、席の場所によっては、配信映像に映る場合がありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

※日程は、変更することがあります。傍聴に来られる際は、日程の変更がないかご確認ください。(議会事務局 ☎0980-56-4397)

## 第2回 今帰仁村議会報告会・住民意見交換会開催

令和8年1月16日に「議会報告会・住民意見交換会」を開催しました。今回の議会報告会では、令和7年に議員が提案し可決された決議・意見書の報告や事前に行ったアンケートをもとに総務文教委員会、経済建設委員会それぞれに関する内容の説明などを行い、その後、住民意見交換会にて村民の皆さまからの質問にお答えしたり、要望をいただきました。ご参加下さいました皆さまに感謝申し上げます。いただきましたご意見等は今後の議会活動の参考にさせていただきます。ありがとうございました。

### 議会報告会

☆議員が提案し可決された決議・意見書

- ①米軍普天間飛行場所属UH-1ヘリコプターからの物品落下事故に対する抗議決議・意見書
- ②今帰仁村内の交通安全対策に対する要請決議
- ③在沖米海兵隊員による凶悪的蛮行・性的暴行事件等に関する抗議決議
- ④西田昌司参議院議員による沖縄戦の実相と史実を歪め、否定する発言への抗議決議
- ⑤すべての性暴力根絶と在沖米海兵隊員による事件に対する意見書

☆令和7年定例会(全4回)、臨時会(全6回)の議決結果一覧

☆昨年の意見交換会にていただいた意見のその後の対応

☆事前アンケートへの説明及び回答



### 住民意見交換会

#### 質疑応答

**質** 本村では、第27回参議院議員通常選挙の投票時間を従来より1時間短縮しました。今帰仁村の状況を鑑みて、公職選挙法の短縮する事由に該当すると考えますか。

**回答** 本村の状況を鑑みて法に抵触するものではないと考えています。(島袋誠議員)  
一意見として、各議員、重く受け止めます。

**質** 湧川区は、空き家があります。「国頭村や本部町では過疎債を使って、古民家の活用や助成事業を行っている。」と新聞に載っていました。今帰仁村も地域活性化の一つと捉え、事業を行ってもらいたいと考えていますが議員の考えを聞きたいです。

**回答** 富山県南砺市に視察に行きました。そこは空家が多く、それをどう改善するかということで、中間管理組織を立上げ、その組織がいろいろな空家、古民家の活用方法を検討し、家主との調整や改修などの調整を行っていました。議会でも検討していきたいと思います。

**質** 60歳で退職して、移住してきた。これから高齢者の生活が大丈夫かなと心配です。退職した方でもまだまだ動ける方はたくさんいます。いろいろな職種に就いていた方がいるので、得意分野を活かし、助け合いながら集団で生活できるような場所がある医療や介護を破綻させないで済むと思います。高齢者が負の遺産と思わないような生き方をつくりたいです。まだまだ元気な方もいるので、高齢者が活躍できる場をつくれたらと思います。議員の意見を聞きたいです。

**回答** 資産を担保にして、共同住宅で生活を送れると聞いたことがあります。国の制度や村の状況を含めて、ガイドラインをつくって村に提案していきたいと思います。

**質** 私の字では一定の年齢になると字費の徴収をしません。高齢化が進み収入が減ってきており、将来的には字の運営が厳しい状況となります。字になんらかの助成金、支援ができる仕組みを議員に考えてもらいたい。

**回答** 今すぐに回答できるものではないため、ご提案として承ります。

**質** 12月定例会の一般質問で、座間味靖議員が平和教育について、有意義な質問していました。現在行っている取り組みも大切ですが、新しい世代の方の戦争の語り部の方を作っていく取り組みなどの考えはありませんか。

**回答** 戦争を体験した語り部の方が少なくなっている。若い世代で戦争体験した語り部の話を受け止めて、次につなげていく人材を育てていくことが大事であると思います。そういった取り組みをしているところもありました。新しい平和教育が求められていますので、議員としても協力できることを取り組んでいきたいです。

### 意見・要望

今回の議会報告会・住民意見交換会を行うにあたり、事前アンケートや本日の報告会終了後のアンケートについても、ネット環境がない人は意見をすることができないため、紙媒体でも意見が言えるようにしてほしい。

(説明:周知期間も含め、いただいた要望を次回に活かしていきたい。)

※上記以外にも、たくさんのご意見や質問、説明等がございましたが、ページの都合上、割愛しております。

### 11/26(水)今帰仁村 DXに関する研修会



研修 「今帰仁村 DX 推進ビジョンに関する意見交換」他  
講師 今帰仁村DX推進本部 CDO 補佐官 山口氏

### 12/5(金)今帰仁村 今帰仁村議会議員研修会



講演 「政治倫理条例について」他  
講師 沖縄県町村議会議長会アドバイザー 石垣氏

## 元村議会議員故 玉城 克義 氏 叙勲(旭日単光章)を受章



令和7年6月11日(水)に県庁6階特別会議室において、特旨叙位及び特別叙勲伝達式が執り行われました。本村から、故玉城克義氏が受章対象者となりました。故玉城克義氏は平成10年9月に村議会議員に初当選し、以来4期16年にわたり在職し、村議会運営副委員長、村議会文教社会副委員長、広報調査特別委員、本部町今帰仁村清掃組合議会議員、村監査委員、本部地区交通安全協会副会長などの要職を歴任されました。その功績が評価され、旭日単光章を授与されました。

### 1/28(水) 那覇市 議会広報研修会



講演 「広報から議会が透ける」他  
講師 議会広報ファシリテーター 越地氏



水道施設を現場踏査している村監査委員

## 定例監査



## 編集後記

寒緋桜を横目に運転している、ピンクにも色々な色合いに魅了される。花の命は短くその美しさを最大限に魅せてくれる。

人生を振り返るとどんな花を咲かせられるのか考えてみると、抽象的ですが「ありがとう」の花を咲かせたい。

今帰仁村議会議員として村民から負託を受け、不慣れながら任期は残り半年となった。

①「汗をかくこと」②「文書を書くこと」③「恥をかくこと」を議員として目標に取り組んできたが、反省と課題が多い。今帰仁村の為に何ができるのか問い続けて歩んでいきたい。「ありがとう」の花を咲かせられるように。

(議会広報委員 根路銘弘美)

- 広報委員長 座間味 靖
- 副委員長 根路銘弘美
- 委員 島袋 輝也
- 委員 上間 聡